



# 感染性胃腸炎の予防 手をよく洗いましょう！

平成 29 年 10 月 18 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 41 週分・10 月 9 日～10 月 15 日)

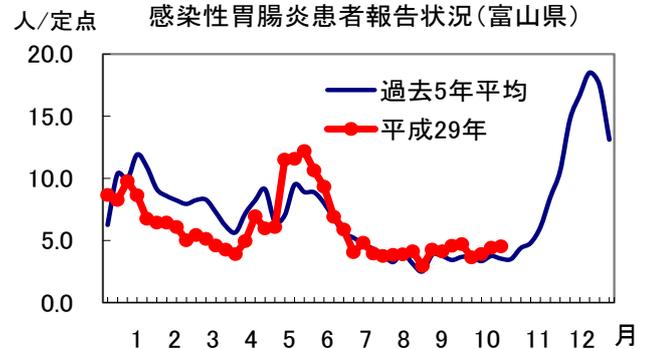
### 《 インフォメーション 》

#### ●感染性胃腸炎

今週、感染性胃腸炎の報告数が定点医療機関あたり 4.52 人となり、先週 (4.41) から増加しました。感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症の総称です。冬季に患者数が増加し、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染が原因です。細菌性の感染性胃腸炎は夏季に多く、病原大腸菌、サルモネラ、カンピロバクターなどが原因となります。特に、カンピロバクターは少量の菌で発症するので注意が必要です。

冬季に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生の多くは、ノロウイルスによるものと推測されており、高齢者施設や保育所等での集団感染や、飲食店等での食中毒には特に気をつける必要があります。

ノロウイルスは腸で増え、患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在します。また、症状が無くてもウイルスを排出している場合もあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られます。感染予防の基本は**手をよく洗う**ことです。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- ふん便や吐ぶつは、マスク・手袋を着用し塩素系消毒剤等で処理し、感染を広げない。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が 85℃～90℃で 90 秒以上)して食べましょう。

### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 6 件 (①第 40 週診断分: 50 歳代、男性 ②40 歳代、女性 ③70 歳代、女性 ④80 歳代、女性 ⑤80 歳代、男性 ⑥70 歳代、男性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (90 歳代、男性)  
梅毒 1 件 (第 40 週診断分: 70 歳代、男性、無症候)  
クロイツフェルト・ヤコブ病 1 件 (第 39 週診断分: 70 歳代、女性)  
後天性免疫不全症候群 1 件 (第 40 週診断分: 40 歳代、男性、AIDS)  
侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (70 歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.52	4.41	↑
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.17	1.10	↑
3 位	手足口病	1.14	1.38	↓
4 位	R S ウイルス感染症	0.86	1.34	↓
	咽頭結膜熱	0.86	0.62	↑
6 位	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.20	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第41週 平成29年10月9日～平成29年10月15日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1			2	1	4	14	4	40	12	71	141
三類感染症	細菌性赤痢								1			2	3
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	13	2	11	29
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											3	3
	レジオネラ症							5		9	2	15	31
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8
	急性脳炎											2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1		1	2		5	8
	後天性免疫不全症候群									1		5	6
	ジアルジア症							2		1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		5	2	17	29
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒							1		4		7	12
	播種性クリプトコックス症											1	1
	麻しん											1	1
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ		2	2		6	10	1,886	1,368	2,457	1,554	3,424
			0.40	0.15		0.38	0.21						
RSウイルス感染症		5	1	11	4	4	25	68	74	261	186	704	1,293
		1.25	0.33	1.38	1.00	0.40	0.86						
咽頭結膜熱		2	3	4		16	25	92	39	223	64	199	617
		0.50	1.00	0.50		1.60	0.86						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9		8	4	13	34	141	57	736	238	692	1,864
		2.25		1.00	1.00	1.30	1.17						
感染性胃腸炎		34	9	28	3	57	131	1,394	846	1,314	559	3,026	7,139
		8.50	3.00	3.50	0.75	5.70	4.52						
水痘				1	1	1	3	6	33	88	34	123	284
				0.13	0.25	0.10	0.10						
手足口病			3	16	8	6	33	250	183	1,098	271	1,046	2,848
			1.00	2.00	2.00	0.60	1.14						
伝染性紅斑								1	1	5	1	18	26
突発性発しん		1		5		2	8	43	28	172	65	118	426
		0.25		0.63		0.20	0.28						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ				3	1	2	6	44	41	240	87	127	539
				0.38	0.25	0.20	0.21						
流行性耳下腺炎		3	1			1	5	161	69	416	78	362	1,086
		0.75	0.33			0.10	0.17						
急性出血性結膜炎										3	2	1	6
流行性角結膜炎			1			1		3	224	23	8	258	
			0.50			0.14							
細菌性髄膜炎							1				1	2	
無菌性髄膜炎							1				3	4	
マイコプラズマ肺炎			1		1	2	9	3	17	11	20	60	
			1.00		1.00	0.40							
クラミジア肺炎							1	1		1	3	6	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）											2	2	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		7	10		2	24		38	64
				1.00		1.75	1.00						
	性器ヘルペスウイルス感染症			2		1	3		6	9	3	20	38
				0.67		0.25	0.30						
尖圭コンジローマ					1	1	2			6	8	10	24
					1.00	0.25	0.20						
淋菌感染症						1	1	2	4			11	17
						0.25	0.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2		3	2	8	11	16	5	26	22	80
		1.00	2.00		3.00	2.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		1		2	4	2	1	11	6	7	27
1.00			1.00		2.00	0.80							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。